

事務事業	10006	子育て情報発信事業	担当課 課長	健康課 作本 和美	担当係 担当者	健康管理係 森近 修子
計後 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予算 科目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	140 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる		款	4	衛生費
				項	1	保健衛生費
				目	3	母子衛生費
基本事業						
法令根拠条例等			個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H27 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年) 年度～ 年度					

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 子育て世代に向け、予防接種のスケジュールやイベント情報等を携帯電話などのモバイル情報端末から情報発信サービスを展開し、子育てに関する情報を得やすい環境を整える。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 子育て情報のサイト掲載等システム業者との連絡、協議。モバイルサービス利用料の支払事務。	主 な 事 業 費 の 内 訳	子育て情報発信システム構築委託料 146 千円
		千円
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) モバイルサービス利用運用	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 乳幼児(その親)	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
		③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 子どもを安心して育てることができる	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)				
			ア	モバイルサービス登録者数	人	27年度 420	28年度 726	29年度 1,000 (見込)
	イ						(見込)	
	ウ					(見込)		
ア	小学生以下の子ども数(0～12歳までの人口)		人	27年度 6,859	28年度 6,662	29年度 6,757 (見込)		
	イ				(見込)			
ウ				(見込)				
ア	モバイルサービス登録割合(0～12歳まで)	目標		27年度 -	28年度 15.0	29年度 15.0		
		実績		6.1	10.9			
イ	子どもが育てやすい町だと答えた保護者の割合	目標		70.0	70.0	70.0		
		実績		55.2	57.3			
ウ		目標						
		実績						
エ		目標						
		実績						
オ		目標						
		実績						

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経 費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源		146	146	146	146	146
		合計(A)	0	146	146	146	146	146
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)		1,616	472	874	678		
トータルコスト(A)+(B)		1,616	618	57	824	146	146	

事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
国において本格的な人口減少社会と地域経済の縮小に対応するための対策として中長期展望を提示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」に基づいた施策を策定し、その一環として開始する。	携帯電話等のモバイル端末の普及で情報を入力するツールとしてほとんどの方が利用している。	特になし

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	登録者数を増やしている状況なので、今後も利用する利便性や登録するように周知を行っていきたいと考えている。	<input checked="" type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません) <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	予防接種の複雑なスケジュール管理や子育て情報をモバイル端末より入手しやすくすることで安心して子育て出来る環境をつくる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	情報を得る媒体として、町広報やホームページなどがあるが、複雑化する子どもの予防接種スケジュールを自動的に作成してくれるサービスは予防接種の受け忘れなどを防ぎ、受診勧奨なども効率的に行えることが期待できる。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	登録者数を増やせるように乳幼児健診や全戸家庭訪問、子育て情報などで周知していきながら、利用の浸透をはかっている。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	予防接種のスケジュール管理など自動でしてくれるサービスは他にない。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	運用が軌道にのり、登録者数が増えれば予防接種の問い合わせや受け間違いなどが減っていくものと思います。接種方法などの説明の際もモバイルサービス利用を促すことで説明を簡略化できている。

(2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

第1子を中心に毎月、登録者数を着実に伸ばしている。接種後にモバイル登録をすると接種歴の登録を全部しないとスケジュールが狂うので面倒な面があり、0歳児の時に登録を勧めるのが有効的なので、接種対象者の登録が浸透するまでには数年かかるものと思われる。
--

3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	